

議第 6 号 平成 30 年度福山市後期高齢者医療特別会計予算について
日本共産党の討論を行います。

後期高齢者医療制度は、75 歳以上の高齢者をこれまで加入していた医療保険から切り離し、独立した保険制度を作ったことで、全員から保険料を徴収し、医療給付など制度運営を行うこととしたものです。

当年度の一人当たりの保険料は、6 万 6217 円から 6 万 8467 円へ、2250 円の引き上げが予定されています。

市内の保険料の滞納者数は 580 人、差し押さえ件数は 3 件で、差し押さえ総額は 181 万 5 千円、短期保険者証は、253 人に発行された、とのことでした。

また、後期高齢者の多くは年金のみの収入のため、所得が低い、高齢のため病気の罹患率が高い、との実態が示されましたが、低所得者にさらなる負担を押し付けるあり方は、認められません。

市独自の負担軽減措置や、福祉施策を拡充し、高齢者の暮らしを

支える手厚い支援が求められます。

75 歳以上の医療制度を年齢で差別し、医療費が嵩めば、自然と高くなる現行制度は根本的に見直し、元の老人医療制度へ戻すことを求め、反対を表明して討論といたします。